

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
文学の世界Ⅱ(世界の名作) Literature II		1年・2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国語の表現力を高めたいと考えている人には「国語表現Ⅰ～Ⅳ」の科目の受講が望まれる。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
さらに読書の楽しみを深めたい人は「文学の世界Ⅰ」「日本の名作」の科目の受講が望まれる。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
大室 精一	みかも館2階	月火水木の9時～16時(授業時間除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
①世界昔話の学習(あらすじをメモする→印象深いシーンをイラストで描く→昔話の特色を解説する。)				
②世界の代表的な名作文学(イギリス・ロシア・フランス・アメリカ・ドイツ)を適宜紹介して解説する。)				
③漢字練習・国語常識(漢字は読み書き・難読語等を扱い、国語常識では中国の故事成語を解説する。)				
授業の目標				
①世界昔話の学習(昔話の理解が深まり、外国文学の特色を文章やイラストで表現することができるようにする。)				
②世界の代表的な名作文学を分析し、その魅力をわかりやすく伝えられる力を身に付けることができるようにする。				
③漢字練習は読み書き・難読語等を扱い、国語常識では故事成語の力を身に付けることができるようにする。				
授業の方法				
この授業の方法は、以下の3項目となる。				
①講義が中心になるが、一部に演習形式(作品の世界を文章やイラストで描く作業)を含む。				
②毎時間プリントによる学習であり、表面は「世界昔話・外国の名作文学」、裏面は「漢字練習」である。				
③プリントの最後に「本日の授業で考えたこと」を記入して学習内容のポイントを確認する。質問も同時に記入する。				
学習の成果(学習成果)				
この授業を履修すると、あなたは				
①世界昔話の特色を理解し、その魅力を文章やイラストにより表現する力を身に付けることができる。				
②世界の代表的な文学作品の特色を理解し、その魅力をわかりやすく伝えられる力を身に付けることができる。				
③社会人として必要な常用漢字の力と、様々な国語常識を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス(勉強の心構え・講義計画・プリント・課題・成績評価等について) プリント学習(漢字練習)			
第2回目	世界昔話①「三匹の子豚」(イギリス) イギリス文学「ハムレット」(シェイクスピア) 漢字練習・国語常識			
第3回目	世界昔話②「梨売り仙人」(中国) イギリス文学「ガリヴァー旅行記」(スウィフト) 漢字練習・国語常識			
第4回目	世界昔話③「アラジンと魔法のランプ」 イギリス文学「ジキル博士とハイド氏」(ステューブソン)			
第5回目	世界昔話④「ジャックと豆の木」 ロシア文学「アンナ・カレーニナ」(トルストイ) 漢字練習・国語常識			
第6回目	世界昔話⑤「七つの星」(ロシア) ロシア文学「罪と罰」(ドストエフスキー) 漢字練習・国語常識			

第7回目	世界昔話⑥「大きな株」(ロシア) ロシア文学「父と子」(ツルゲーネフ)		漢字練習・国語常識
第8回目	世界昔話⑦「青い鳥」(ベルギー) フランス文学「赤と黒」(スタンダール)		漢字練習・国語常識
第9回目	世界昔話⑧「逃げ出したパンケーキ」 フランス文学「レ・ミゼラブル」(ユゴー)		漢字練習・国語常識
第10回目	世界昔話⑨「シンデレラ」(ペロウ童話) フランス文学「青い鳥」(メーテルリンク) 課題「私の人生を変えた一冊の本」提出		漢字練習・国語常識
第11回目	世界昔話⑩「長靴をはいた猫」 アメリカ文学「風と共に去りぬ」(ミッチェル)		漢字練習・国語常識
第12回目	世界昔話⑪「王様の耳はロバの耳」 アメリカ文学「武器よさらば」(ヘミングウェイ)		漢字練習・国語常識
第13回目	世界昔話⑫「北風がくれたテーブルかけ」 アメリカ文学「黒猫」(アラン・ポー)		漢字練習・国語常識
第14回目	世界昔話⑬「手ぶくろ」(ウクライナ) ドイツ文学「ファウスト」(ゲーテ)		確認テスト
第15回目	世界昔話⑭「雪の女王」(アンデルセン童話) ドイツ文学「変身」(カフカ)		全体のまとめ
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度	45%	毎時間プリントを配布し、授業後に回収して、授業への参加態度を記入状況により評価する。45点満点：毎時間のプリントを3点満点で評価(すべて記入なら優→3点、良→2点、可→1点)×15=15～45点	
レポート	15%	「私の人生を変えた一冊の本」の課題の、表現力と自己分析の深さを記入状況により評価する。15点満点：課題の提出点が10点、レポートの完成度により1～5点を加える。	
調査報告書			
小テスト			
試験	40%	大テーマによる論述問題(2問)で10点、授業全体から短答式の設問(15問)で30点の試験。40点満点：論述問題は記入してあれば5点、完成度により1～5点を加える。短答式は1問2点となる。	
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書：プリントによる学習のため教科書は使用しない。 参考書・参考資料：授業担当者より適宜紹介するが購入の必要はない。			
履修上の留意点・ルール			
毎回の授業でプリントを配布し回収して添削・評価を行うので、欠席した場合には「オフィスアワー」を利用して補講を受ける。			